



# データ・資料

## 外部評価・表彰

富士通は、社会・環境分野の取り組みに対して世界的に高い評価を継続して頂いており、以下の株価指標への組み入れや、外部からの表彰を受けています。

- [↓ SRIに関する主な株価指標への組み入れ状況](#)
[↓ 主な外部表彰受賞状況（2018年度以降）](#)  
[↓ 過去の評価・表彰について](#)

## SRIに関する主な株価指標への組み入れ状況



株価指標	内容	ロゴ
Dow Jones Sustainability Indices (World, Asia Pacific)	社会的責任投資（SRI）の世界的なインデックスとして高く評価されており、経済、環境、社会面での取り組み実績において、世界 2,500 社のうち上位 10%の企業を DJSI World として認定。当社は 8 年連続 20 回組み入れ。	 <p>MEMBER OF <b>Dow Jones Sustainability Indices</b></p> <p>In collaboration with </p>
RobecoSAM 社 Sustainability Award	世界大手約 2,500 社から、「経済」・「環境」・「社会」面の持続可能性を評価し、上位 10%に相当する CSR 優良企業の中で特に優秀な企業を「Gold Class」「Silver Class」「Bronze Class」に格付け。当社は Bronze を受賞。	 <p><b>SAM</b> Sustainability Award Bronze Class 2019</p>
FTSE4Good Index Series	ロンドン証券取引所の出資会社である FTSE 社によって作成された世界の代表的な社会的責任投資（SRI）指標の 1 つで、「環境」「社会」「ガバナンス」から企業を評価。当社は 10 年連続で選出。	 <p><b>FTSE4Good</b></p>
CDP	国際的な非営利組織である CDP が、運用資産総額 100 兆米ドルを超える機関投資家を代表し、世界 5,000 社以上に対して、環境分野に関する調査を実施。当社は「気候変動対策」の調査で 2 年連続最高評価の A を獲得。	 <p><b>CDP</b> DISCLOSE. REPORT. ACT. <b>A LIST</b> 2018 CLIMATE CHANGE</p>
MSCI ESG Select Leaders Indexes (World, Japan)	世界的な株式指数会社である MSCI 社が開発した世界的に著名な ESG（環境・社会・ガバナンス）指標。ESG への取り組みに優れた銘柄を選出。当社は 9 年連続で組み入れ。	 <p><b>MSCI</b> 2018 Constituent MSCI ESG Leaders Indexes</p>
STOXX® Global ESG Leaders	ドイツ証券取引所の子会社である STOXX 社が開発した ESG 指標。ESG 調査会社である Sustainalytics（オランダ）による調査結果をベースに、評価基準を満たした企業を選定。当社は 5 年連続で組み入れ。	 <p>Member 2018/2019 <b>STOXX</b> ESG LEADERS INDICES</p>
ISS-oekom Corporate Rating	ドイツに拠点を置く CSR 評価会社であるアイエスエス・イーコム社（ISS-oekom）による、「環境的側面」「社会的・文化的側面」からの企業責任の格付け。当社は 2011 年より「Prime」に認定。	 <p>Corporate Responsibility <b>Prime</b> rated by <b>ISS-oekom</b></p>
Ethibel Sustainability Index (ESI) (Excellence Register)	Ethibel Excellence Investment Register はベルギーの非営利組織フォーラム・エティベル運営の投資ユニバースで、企業の社会的責任の観点から高いパフォーマンスを示す企業でインデックスを構成。当社は 2013 年から 2016 年と 2018 年に組み入れ。	 <p>member of the INVESTMENT REGISTER <b>ETHIBEL</b> EXCELLENCE</p>
Euronext Vigeo Index - World 120	世界最大の証券取引グループ NYSE Euronext 社と企業の社会的責任の実績評価を手掛ける欧州の Vigeo Eiris 社による持続可能性評価指標で、環境・社会・企業統治の面で優れた企業上位 120 社を構成銘柄に採用。当社は 2013 年から 2015 年と 2017 年、2018 年に組み入れ。	 <p><b>EURONEXT</b> <b>vigeo eiris</b> INDICES WORLD 120</p>

## 主な外部表彰受賞状況（2018年度以降）

内容	年月	主催	対象
米 FORTUNE 誌「世界で最も賞賛される企業」に選出 <a href="http://pr.fujitsu.com/jp/news/2019/02/6.html">http://pr.fujitsu.com/jp/news/2019/02/6.html</a>	2019年2月	米 FORTUNE 誌	当社の企業活動
平成30年度省エネ大賞 資源エネルギー庁長官賞を受賞 <a href="http://pr.fujitsu.com/jp/news/2019/01/18.html">http://pr.fujitsu.com/jp/news/2019/01/18.html</a>	2019年1月	(一財)省エネルギーセンター 後援：経済産業省	液浸冷却システム
平成30年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞 <a href="http://pr.fujitsu.com/jp/news/2018/11/14.html">http://pr.fujitsu.com/jp/news/2018/11/14.html</a>	2018年11月	環境省	液浸冷却システム
「EcoBalance2018」にて「Award for Best Business Practices」を受賞 <a href="http://pr.fujitsu.com/jp/news/2018/11/2.html">http://pr.fujitsu.com/jp/news/2018/11/2.html</a>	2018年11月	EcoBalance2018 (第13回エコバランス国際会議)	データセンターのエネルギーと資源利用の環境影響評価に関する取り組み
日経地球環境技術賞（第28回）において優秀賞を受賞 <a href="http://pr.fujitsu.com/jp/news/2018/10/31-1.html">http://pr.fujitsu.com/jp/news/2018/10/31-1.html</a>	2018年10月	日本経済新聞社	音声情報を活用した生物の生息調査システムの開発
都市緑化機構「SEGES（シージェス）」で緑の殿堂の認定を取得 <a href="https://pr.fujitsu.com/jp/news/2018/10/22.html">https://pr.fujitsu.com/jp/news/2018/10/22.html</a>	2018年10月	(公財)都市緑化機構	沼津工場 緑地保全活動
「環境人づくり企業大賞2017」にて優秀賞を受賞 <a href="http://pr.fujitsu.com/jp/news/2018/04/6.html">http://pr.fujitsu.com/jp/news/2018/04/6.html</a>	2018年4月	環境省、環境人材コンソーシアム	環境人材育成の優良な取り組み

## 過去の評価・表彰について

内容	年度	詳細	ロゴ
ダイバーシティ経営企業100に選定	2013年度	経済産業省から、ダイバーシティを推進し、多様な人材を活かし、イノベーションを生み、価値創造につなげる経営をしている企業として選定されました。	
なでしこ銘柄に認定	2015年度	経済産業省と東京証券取引所より、積極的に女性活躍推進に取り組む企業として平成27年度「なでしこ銘柄」に選定されました。	
えるぼし（3段階目）認定	2016年度	女性活躍推進に関する状況等が優良な企業として、女性活躍推進法に定められた厚生労働大臣の認定を受けました。	
PRIDE 指数ゴールド表彰	2016年度	任意団体 work with Pride より、日本初のLGBTに関する企	

内容	年度	詳細	ロゴ
	2017 年度	業などの取組みの評価指標である [PRIDE 指標] に関し、すべての指標を満たす企業としてゴールド表彰を受けました。	
健康いきいき職場認定制度 ～スターター認証～	2014 年度	日本生産性本部と東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野が協同して設立した「健康いきいき職場づくりフォーラム」(注) が制定した「健康いきいき職場認定制度～スターター認証～」を取得しました。	

## 社会データ

[従業員構成](#)
[取締役会](#)
[多様性](#)
[雇用](#)
[制度利用](#)
[労働安全衛生](#)
[人材開発](#)

\*は第三者検証対象項目

### 従業員構成（富士通グループ）

		2016年度	2017年度	2018年度	GRI 対応項目
地域別従業員数 (人) *	合計	155,069	140,365	132,138	G102-7,8,
	日本	98,447	92,476	85,347	
	アジア	17,209	12,376	10,488	
	オセアニア	3,422	3,137	2,926	
	米州	7,821	5,867	5,262	
	EMEIA	28,170	26,509	28,115	
雇用形態別 従業員数 (人)	正規	155,069	140,365	132,138	
	非正規	16,307	15,883	12,990	

(注1) 嘱託社員、契約社員、パートタイマー、アルバイト等の従業員を含み、派遣社員は含まれておりません。

### 取締役会（株主総会後）

		2017年6月末	2018年6月末	2019年6月末	GRI 対応項目
取締役数 (人)	合計	10	10	10	G405-1,
	うち男性数	8	8	8	
	うち女性数	2	2	2	
社外取締役数 (人)		4	4	4	
外国籍取締役数 (人)		1	1	0	

(注1) 嘱託社員、契約社員、パートタイマー、アルバイト等の従業員を含み、派遣社員は含まれておりません。

## 多様性（富士通）

		2016年度	2017年度	2018年度	GRI 対応項目
従業員数（人）＊ 合計		33,095	32,969	31,827	G405-1,
平均年齢（歳）＊		43.1	43.3	43.2	
年齢層別 従業員数（人） ＊	30歳未満	4,281	4,337	4,432	
	30-50歳未	18,875	17,655	16,287	
	50歳超	9,939	10,977	11,108	
男女別 従業員数（人）	男性	27,754	27,462	26,397	
	女性	5,347	5,507	5,430	
女性社員比率（％）		16.1%	16.7%	17.1%	
女性幹部社員比率（％）＊		5.24%	5.71%	6.15%	
新任女性幹部社員比率（％） （年度末有資格者）		10.1%	11.3%	11.5%	
外国人従業員数（人）		343	383	391	
障がい者雇用率（％）＊ （毎年6月集計）		2.00%	2.15%	2.28%	

## 雇用（富士通）

		2016年度	2017年度	2018年度	GRI 対応項目
新卒採用者数（人）	合計＊	740	750	750	G401-1
	男性	480	530	510	
	女性	250	220	240	
平均勤続年数（年） ＊	全平均	20.0	19.4	19.2	
	男性	20.6	20.0	19.9	
	女性	17.2	16.4	16.0	

## 制度利用（富士通）

		2016年度	2017年度	2018年度	GRI 対応項目
育児休職 利用者数 (人) *	合計	336	425	442	G401-3,
	男性	38	42	60	
	女性	298	383	382	
育児休職後の 復職率 (%)	合計	98.5%	98.4%	99.5%	
	男性	100%	100%	100%	
	女性	98.3%	98.3%	99.4%	
育児休職後の 定着率 (%)	合計	98.2%	98.3%	97.8%	
	男性	100%	93.3%	83.3%	
	女性	96.0%	98.8%	98.8%	
介護休職 利用者数 (人) *	合計	14	7	17	
	男性	10	4	12	
	女性	4	3	5	
介護休職後の復職率 (%)		100%	100%	95.0%	
介護休職後の定着率 (%)		97.1%	92.3%	71.4%	
短時間勤務 (育児) (人) *	合計	789	871	841	
	男性	16	21	19	
	女性	773	850	822	
短時間勤務 (介護) (人) *	合計	17	13	9	
	男性	7	6	3	
	女性	10	7	6	
出産育児サポート休暇 取得者数 (人) *		482	652	585	

## 労働安全衛生（富士通）

	2016年度	2017年度	2018年度	GRI 対応項目
度数率（災害発生率）* 合計	0.08	0.18	0.28	G403-2,
強度率	0.000	0.000	0.000	

度数率: 業務上休業災害件数 ÷ 延労働時間 × 1,000,000

強度率: 労働損失日数 ÷ 延労働時間 × 1,000

## 人材開発

		2016年度	2017年度	2018年度	GRI 対応項目
平均学習時間 (時間/年)	合計	55.7	45.3	49.9	G404-1
	幹部社員	39.8	34.8	31.9	
	一般社員	59.9	49.4	53.8	

※2016年度まで富士通、2017年度と2018年度は富士通および一部の国内グループ会社（一部除く）